

## 【2019年度】

## 入校式



【4名の12期生(写真:アフロスポーツ)】

競技	ふりがな氏名	性別	出身地	学校名	学年
レスリング	吉田 アリヤ	男	千葉県	北区立稲付中学校	1年
レスリング	高根澤 虎白	男	茨城県	北区立稲付中学校	1年
ボート	瀬川 咲新	女	福岡県	成立学園高等学校	1年
アーチェリー	渋谷 樹里	女	滋賀県	東京都立足立新田高等学校	1年

4月7日、2019年度入校式が味の素ナショナルトレーニングセンターで開催され、12期生の3競技4名が新たにアカデミー生となりました。

家族や関係者ら約130名が見守る中、12期生が入場。平岡JOC副会長兼専務理事が主催者代表として挨拶し、その中で「最初は上手いかない事の方が多く、辛いこともあると思いますが、辛い時も、少し我慢して頑張ってみてください。先輩の中には、世界選手権で優勝し、東京2020オリンピック大会でのメダル獲得が期待される先輩も出ています。皆さんも先輩に追いつき、そして追い越す気持ちで頑張ってくださいと思います。」と激励のメッセージを送りました。

続いて、来賓を代表して平野誠スポーツ庁競技スポーツ課長が登壇し、「全国から選ばれ、ここでトレーニングできることに誇りを持って、自身の力を伸ばしていきましょう。今日の気持ち、初心を忘れることなく、アスリートとして土台となる人間力に磨きをかけてください」とエールを送りました。

次に、今年度エリートアカデミーの在校生を代表してキャプテンの鏡優翔さん(レスリング)が、「皆さんは親元を離れ、この素晴らしい環境で生活を送ることに不安や緊張など様々な感情を持っていると思います。私も入校した3年前には同じ気持ちでした。しかし、そんなことを言っている時もライバルは練習しています。競技力の向上はもちろん、人間力の向上を目指し、一緒に気合を入れて頑張りましょう」と歓迎の言葉を送りました。

最後に、4人の入校生が自己紹介と決意表明をしました。名前を呼ばれた入校生は将来の目標やアカデミーで学びたいことを力強く発表。出席者からは温かい拍手が送られました。

### 《2019年度全体保護者会》

入校式終了後に会場を移し、アカデミー生の保護者や家族約40名が出席して2019年度全体保護者会が開催されました。今回の保護者会は次のような内容で実施、保護者会終了後は、希望制でアスリートヴィレッジ見学とRAとの情報交換を実施しました。

- ①スタッフ紹介 ※全ての競技団体のスタッフを含めて
- ②2018年度事業報告(競技成績、教育プログラム、生活等)
- ③2019年度事業計画(方針、枠組み、教育プログラム、評価等)
- ④研修

・講演 「トップスポーツとの関わり方」

・講師 独立行政法人 日本スポーツ振興センター理事  
JSCハイパフォーマンスセンター長 勝田 隆

## 【水泳/飛込】

## 全日本室内選手権

2019年度日本室内選手権飛込競技大会が4月19日から21日までの3日間、東京辰巳国際水泳場で開催されました。この大会は、世界選手権、アジアカップ、ユニバーシアード、FINAグランプリの代表選考会を兼ねており、特に今年7月の世界選手権は、オリンピックの代表選考を兼ねた大会となっている為、出場選手にとっては大きな意味のある大会です。

遠藤君は初日に行われた1m飛板飛込で、自己ベストを記録し、全日本レベルの大会で初優勝を果たしました。今回は、最高難易度に挑戦する大会と位置づけ、予選から高難易度演技に挑戦し、決勝では、「放物線」と「高さ」で思い通りの演技ができ、高得点をマークすることができました。



【全日本初優勝を果たした遠藤君】

安田さんは、3m飛板飛込と高飛込の2種目で3位となりました。しかし、飛板シンクロと高飛込シンクロ競技は、特に世界選手権代表入りを狙っていましたが、世界選手権の標準点までは到達できなかった為、代表権獲得はなりませんでした。安田さんは、今大会4種目フルエントリーに挑戦し、最終種目までベストを尽くした演技を続けられたことは大きな成果でした。

## 【アーチェリー】

# 日本代表選考会

### 《第50回世界アーチェリー選手権大会日本代表選考会》-----

6月にオランダで開催される世界選手権の最終選考会が、4月23日でメデジン(コロンビア)で開催され、園田さんが日本代表権を獲得しました。これは、アーチェリー界では最年少記録となります。

世界選手権の予選はこれまでに次のように3回開催され、最終選考会に残った男女各4名により、3位までが代表権獲得となります。

- ・第1次選考会(11月:日本/掛川)
- ・第2次選考会(2月:アメリカ/チュラピスタ)
- ・第3次選考会(3月:日本/掛川)
- ・最終選考会(4月:コロンビア/メデジン)※ワールドカップ

最終選考会は、2019年ワールドカップ第1戦コロンビアメデジン大会の予選ラウンドの中で行われ、そこで上位3名を日本代表とするものです。

園田さんは国際大会の経験が他の3選手に比べて少ない中、最終選考会というプレッシャーや天候の急変など様々な悪条件、そして1点を争う大接戦を勝抜いての日本代表入りであり、本当に素晴らしい結果です。

#### 女子個人ランキングラウンド

	1位	KANG Chae Young	KOR		670点
	2位	CHANG Hye Jin	KOR		667点
	3位	LAN Lu	CHN		659点
☆	13位	杉本 智美	日本	株式会社ミキハウス	646点
☆	15位	久原 千夏	日本	福井信用金庫	645点
☆	16位	園田 稚	日本	東京都立足立新田高校	644点
	19位	早川 漣	日本	株式会社テソーソリューション	640点

### 《第16回世界ユースアーチェリー選手権大会日本代表選考会》-----

U19(19歳以下)とU17(17歳以下)の日本代表を決定する選考会が4月12日、13日、つま恋リゾート(掛川市:静岡県)で開催され、伊藤君、野田君、渡邊さん、園田さん、渋谷さんの5名が出場しました。

男子では、伊藤君が1日目、第1ラウンドで首位に立つと、最後までその座を譲ることなく、最終的には2位に45点という大差をつけて1位となり代表権を獲得しました。

女子では、園田さんが、1日目は本来の力を発揮できず予想より得点は伸びませんでしたが、大きなミスがなく最終的には1312点で首位にたつと、2日目は最終ラウンドで高得点をマークし、2624点で1位となり代表権を獲得しました。

また、渡邊さんは、1日目園田さんと同点で、1位で折り返しましたが、2日目に入り、得点が伸びず、前半は3位に後退し、4位の選手にも1点差まで詰められました。しかし、後半は持ち直し、風が強くなる中で安定した力を発揮し、最終的には2599点で2位となり代表権を獲得しました。

## 【Vプログラム】

# インテグリティ教育

インテグリティ教育を4月1日に味の素ナショナルトレーニングセンターで開催しました。これは、JOCエリートアカデミーの教育プログラム(下記の表参照)の一環として実施したプログラムです。

前半は『スポーツのインテグリティについて理解を深め、自らのあるべき姿を気づかせる』を目的として、日本を代表する選手としての”あるべき姿”を考えました。

後半は『ソーシャルメディアの影響やリスク、効果的な活用法などの理解を深める』を目的として、急速に発達・普及するソーシャルメディアについて、正しい知識、取り扱い、向き合い方のヒントの指導を行いました。

## 【2019年度】

# 教育プログラム内容

区分	プログラム	目的	対象	実施日	回数(年間)
継続型	言語教育	・言葉を理解する(読む、書く、話す、聞く) ※言語技術教育の副段階として実施	中学生	月1回	8回
	言語技術教育	・論理的な思考や表現力(文章作成)を向上させる	高校生	月1回	8回
	英会話教育	・英会話を通じてコミュニケーションスキルを向上させる 国際感覚を養う	全員	週1回	30回
	学習会	・基礎学力の定着を図る	全員	年間	随時
単発型	インテグリティ教育	・スポーツインテグリティについて理解を深め、アスリート自らがあるべき姿に気づかせる ・ソーシャルメディアの影響やリスク、効果的な活用法などの理解を深める	全員	4月	1回
	アンチドーピング教育	・フェアプレイの精神を養う ・アンチドーピングについて理解を深める	全員	7月	1回
	体験活動	・JOCエリートアカデミーへの帰属意識を高める ・自然の大切さ、社会の仕組みやその変化などを理解する	全員	5、2月	2回
	キャリア教育	・キャリアを形成していくために必要な能力や態度を身に付ける	中学3年 高校3年	年間	随時
	講演会	・トップアスリートとなるための意識を高める ※「覚悟」が「アス」の戦い」に出席し、競技に対する姿勢等を学ぶ	全員	月1回 第2木曜日	12回
	栄養教育	・栄養についての意識を高める ・食事(調理)についての興味関心を高める	高校生	年間	2回

公益財団法人 日本オリンピック委員会  
JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1  
味の素ナショナルトレーニングセンター  
TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。  
<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>